

Case1

子育てへの協力にも感謝
一歩踏み出したことで開けた
フォトグラファーの道

始まりは小さな撮影会から

熊本地震後に立ち上がった育児サークルで撮影会をしたのがきっかけです。最初はサークルの一利用者でしたが、スタッフとしてお手伝いをするようになりました。活動風景を撮影したところ、その出来栄を見た代表者や周囲のママから「仕事にしてみても」と勧められ、サークルに参加する親子を対象とした1回500円のプチ撮影会を開催しました。参加者から喜んでもらい、人物撮影の楽しさをより強く感じることができました。その後Instagramを開業し、フォトグラファーのマッチングサイトに登録。異業種交流会に参加し人脈を広げることで次第に仕事の依頼が増えてきました。

1988年、熊本市生まれ。高校卒業後、アパレル関係の仕事を経て2014年に結婚、16年出産。産後、子どもを撮影するために一眼レフカメラを購入。独学で写真を撮り始め、17年に起業。カメラの他、DTPデザインや女性起業相談なども行う。夫と長男(7)の3人家族。

まばたきPhoto&Design
フォトグラファー 上野未来さん



家族の反応

夫は起業当初から応援してくれています。以前は遅くまで仕事をする私を見て体調を心配することはありましたが、都合が付けば遠方撮影の時に車を運転してくれたり、家のことを進んでやってくれたり協力的です。



がむしゃら過ぎたことを反省

子どもが保育園の頃は、県外まで撮影に行き深夜に編集作業をするなど、がむしゃらになり過ぎて心も体も疲れちゃって…。小学校入学後は、遠方の仕事を減らし子どもの帰宅時間までに仕事を終わらせるようにしています。ライフスタイルに合わせて働き方を調整できるのもフリーランスの魅力の一つです。どうしても仕事で帰りが遅くなる時は近所のママ友が子どもを見てくれるのでとても助かっています！子育てと仕事を両立できるのは周りの協力があってこそだと痛感しています。

起業した女性たちの
ネットワークづくりを！

熊本の女性が気軽に起業できるネットワークづくりをしたいです。そのために40代で撮影とデザインの事務所を構えて仲間の輪を広げ、起業したい女性たちと連携しながら一緒に事業拡大することが目標です。



現在は撮影以外の仕事も

七五三や誕生日などのロケ撮影や、自宅のスタジオでのプロフィール撮影、物撮りのほか、新生児や授乳フォトの撮影をしています。また、異業種交流会やワーキングが縁でチラシやホームページデザインの依頼もあります。毎回挑戦しながら仕事の幅を広げてきました。最近では初心者向けの写真講習会や女性の起業相談なども増えています。

コワーキングとは？

個人事業主や起業家、テレワーカー、ノマドワーカーといった人たちが、スペースを共有しながら行うワークスタイルです。

タイムスケジュール

6:30	起床
7:30	息子を送り出し・家事
9:00	出発
9:30	現場到着、ロケハン
10:00	撮影開始
11:30	移動
12:30	昼食
13:00	自宅にて作業
16:00	家事
17:30	夕食
18:30	家事
19:00	息子の習い事
21:00	寝かしつけ
21:30	SNS更新、作業
0:00	就寝

働き方も多様な時代

「小さな起業」のススメ

近年、「プチ起業」や「スモールビジネス」という言葉を聞いたことがある人も多いのでは。今回は自分らしい人生を送るための小さな起業について特集。県内でプチ起業した人たちに、事業を興したきっかけや課題、今後の展望などを聞きました。

子育てしながら
ベビー服の
ネットショップを開業



小さな起業って？

会社員や専業主婦(夫)、学生、退職者など、仕事を持っているかどうかに関係なく、小規模かつ少ない資金で始められる起業を指します。明確な定義はなく、フリーランスや特定のオフィスを持たないノマドワーカーのような働き方を含むこともあります。

趣味の映像撮影を生かし
定年後、web 動画制作を受注



人材育成の経験を
フリーの研修講師に
生かす



本業とは別に
週末にヨガ教室を開催



夫婦で
マルシェ出店に挑戦！



働き方も「令和モデル」へ
小さな起業がスモールステップに

「人生100年時代」に一人一人が能力を発揮し自分らしく生きていくため、働き方などを見直す動きが広まってきています。『令和5年版男女共同参画白書』(男女共同参画局)では、「男性は仕事、女性は家庭」の「昭和モデル」から、「全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会『令和モデル』に切り替える時である」と強調しています。

ライフスタイルに合わせて働きやすい「起業」はそれを実現する働き方の一つと言えます。近年は県内でも、比較的小規模のビジネスを興し、本業の傍らで事業を営んだり、好きなことを生かしたりして収入を得るなど、柔軟な働き方を実践している人は少なくありません。本特集を通して、自分らしい働き方・生き方を考えてみませんか。

「令和モデル」

職業観・家庭観が大きく変化中、全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会の実現へ

① 希望が満たされ、能力を最大限に発揮して仕事ができる環境の整備

② 仕事と家事・育児等のバランスが取れた生活

③ 女性の経済的自立